

聖園子供の家映像ワークショップ

助成：（公財）大同生命厚生事業団



第1回ワークショップ

2020年1月26日

最初に、映像はただ動いているものを追いかけるのもいいが、テーマを決めて、テーマに沿って映像を撮ると見ている人に色々なことが伝わることを説明。その後、今回はテーマを『おもちゃのチャチャチャ』にすると、どうすればこの歌の楽しさが見る人に伝わるかを考えながら全員で歌詞を確認した。登場するおもちゃや情景を確認し、思い思いにおもちゃを画用紙に描いて、切り抜き、黒く塗った割り箸にノリで貼り付けた。また、背景やタイトル画面も必要ということになり、分担して製作に取り組んだ。

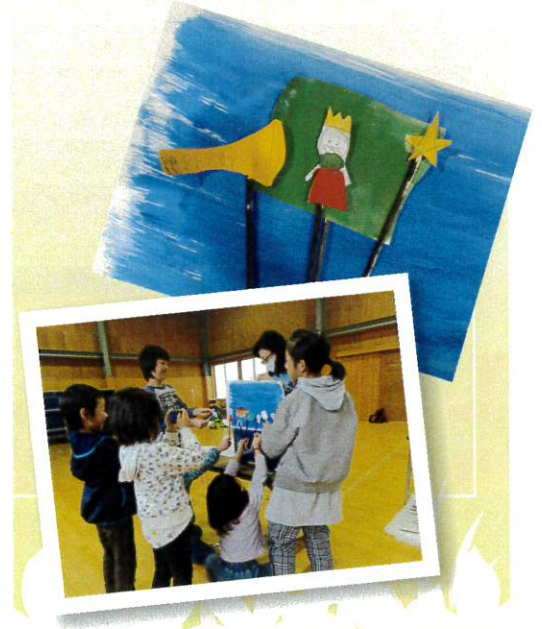
ある程度製作進んだことから、この日のワークショップの最後には、試しに音と合わせて録画してみるようになった。音は、北村明日人氏が事前に編曲、録音して送ってくれたピアノ伴奏を使った。カメラは2台持ちこみ、2人が撮影係になり、残りのメンバーは場面転換をする係なのだが、順番でみんなが撮影係になれると話しておいても、映像専門になりたいと言って場面転換はしたくないと喧嘩が勃発。この日は無理に録画をせずに、次回のワークショップで録画することにした。

作品の完成を目指すことはもちろん重要であるが、この日は映像作品を作るときには撮影される側が存在しなければ映像にならないことや、色々な役割が必要であることが学べたのではないかと考えている。また、大人数で作品を作るときには、やりたいことだけ、好きなことだけに取り組んでも作品が完成しないことを子どもたちは理解した様子だった。

『おもちゃのチャチャチャ』

NPO リトル・クリエイターズは、公益財団法人大同生命厚生事業団からの助成で購入したカメラを使って、映像を撮るワークショップを神奈川県にある児童養護施設聖園子供の家で2回にわたって開催した。

映像のテーマは子供たちがよく知っている歌『おもちゃのチャチャチャ』。伴奏と歌は、リトル・クリエイターズが開催するチャリティ・コンサート『チャイルド・エイド・アジア』の過去の出演者北村明日人氏（ピアノ）と吾妻真優氏（ボーカル）に協力を仰ぎ、5月5日にサントリーホールで開催されるチャリティ・コンサート『チャイルド・エイド・インターナショナル』で映像をお披露目することにした。





第2回ワークショップ

2020年2月16日

第2回目のワークショップでは、前回作成した絵画作品を使って撮影会を行った。2人ずつ撮影する係となり、残りのメンバーが場面転換を受け持ったが、今回は年長の子どもがイニシアティブをとったことも手伝って、喧嘩することなく撮影をすることができた。目的は、歌にあわせて場面転換をし、その場面を撮影することで『おもちゃのチャチャチャ』のビデオ・クリップを作るところにあったが、撮影係になるこどもたちは場面を撮影するだけでなく場面転換をしているこどもたちの表情や動きを追うところもあり、面白い映像が出来上がった。

5月5日のコンサートの中で投影する予定だったが、こどもたちを保護する観点から、こどもたちの顔がわかるような映像は流せないため、編集をどのようにするかが次の課題として浮かび上がった。編集までこどもたちにやらせることが理想だが、PCがあるわけでもなく、大人の手を入れるしかないかと考えている。



おわりに

ワークショップと新型コロナウイルス感染拡大

2月末から新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、NPO リトル・クリエイターズの聖園子供の家でのワークショップが中止になった。映像作品を発表しようと考えていた5月5日のチャリティ・コンサート『チャイルド・エイド・インターナショナル』も中止になった。6月から、7月からと再開を待ち望んでいるが、7月5日現在、残念ながら見通しが立っていない。映像のワークショップをもう少し続けて、こどもたちと一緒に編集ができるくらいまでに進められたらとスタッフ一同残念に思っている。児童養護施設も4月から新しいこどもたちを受け入れておりメンバーが大きく変わっている可能性があるため、一旦この映像ワークショップは終了とし、再度新しいメンバーで新しいテーマで取り組むことができたらと願っている。

1月、2月のワークショップの成果物としては、こどもたちのワークショップでの活動風景写真と、こどもたちが撮影した映像北村氏のピアノ伴奏を後付けしたものをUSBで成果物として提出したい。(編集はリトル・クリエイターズのスタッフ) なお、同じく新型コロナウイルス感染拡大の影響で吾妻氏の歌の録音も実現しなかった。

一方で、『チャイルド・エイド・インターナショナル』をバーチャルコンサートに変更し(5月9日から6月6日までYouTubeで配信)、児童養護施設のこどもたちのIT環境を充実するための寄付集めをすることができた。聖園子供の家では、入所しているこどもが100人を越えるのに、こどもたちが使えるPCは1台しかないことが判明。コンサートで集めた寄付金で聖園子供を家のWiFi環境を整えるのと同時に、中古のPCやタブレットを集めることができた。現在、整備の準備をしているところである。近い将来、今回のようなカメラや映像ワークショップを開催する際には、PCを使った編集や作品作りにも取り組んでいければとかながえている。

今回、計画していた事業が全て問題なく進んだわけではないが、助成をいただいたことで7台のカメラ(ニコンA100SL)を所有することができるようになった。今後もこの7台のカメラを利用して、こどもたちがIT機器に抵抗がないように成長できるようワークショップを展開していきたい。同時に、このように対面でワークショップができない時期にはどのような支援が可能か具体的に考えていきたい。